

本文

※例文は学習用です。

- ① 我読_レ書。(我、書を読む。) → 我書を読む。
- ② 学而時習_レ之。(学びて時に之を習ふ。) → 学びて時に之を習ふ。〔而=置き字・読まない/之=平仮名/習+ふ〕
- ③ 過則勿_レ憚_レ改。(過てば則ち改むるを憚ること勿かれ。) → 過てば則ち改むるを憚ること勿かれ。〔則・勿を平仮名に〕
- ④ 未だ嘗て_レ不_レ。例：未_レ嘗有_レ也。(未だ嘗て有らざるなり。) → 未だ嘗て有らざるなり。〔未=再読文字・二度目「ず」は平仮名/也=平仮名〕
- ⑤ 将_レ渡_レ江。(将に江を渡らんとす。) → 将に江を渡らんとす。〔将=再読文字・二度目「とす」は平仮名〕
- ⑥ 不_レ入_レ虎穴、不_レ得_レ虎子。(虎穴に入らざれば、虎子を得ず。) → 虎穴に入らざれば、虎子を得ず。〔不=平仮名「ず」〕
- ⑦ 無_レ友_レ不_レ如_レ己者。(己に如かざる者を友とすること無かれ。) → 己に如かざる者を友とすること無かれ。〔無・者を平仮名に〕
- ⑧ 学_レ不_レ可_レ以_レ已。(学は以て已むべからず。) → 学は以て已むべからず。〔可=平仮名「べ」/不=平仮名「ず」〕
- ⑨ 己所_レ不_レ欲、勿_レ施_レ於_レ人。(己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。) → 己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。〔於=置き字・読まない・書かない〕
- ⑩ 青取_レ之_レ於_レ藍。(青は之を藍より取る。) → 青は之を藍より取る。〔於=「より」と読む場合は書く。読む置き字は書き、読まない置き字は書かない〕
- ⑪ 当務_レ之_レ急。例：事当_レ如_レ此。(事当に此くのごとくなるべし。) → 事当に此くのごとくなるべし。〔当=再読文字・二度目「べし」は平仮名〕
- ⑫ 与_レ朋友_レ交。(朋友と交はる。) → 朋友と交はる。〔与=「と」と読み平仮名に/交+はる〕

設問

1. ①「我読書。」を、訓点に従って正しく書き下しなさい。
2. ②「学而時習之。」を書き下しなさい。
3. ②の「而」は書き下し文ではどのように扱うか（書くか・書かないか、また送り仮名のどこに溶け込むか）を説明しなさい。
4. ②の「之」を、書き下し文では何と読んで平仮名で書くか答えなさい。
5. 次の書き下し文には誤りがある。②を「学び而時に之を習ふ。」と書き下した場合の誤りを指摘し、正しく直しなさい。
6. ③「過則勿憚改。」を書き下しなさい。

7. ③で「則」「勿」を漢字のままにせず平仮名で書くのはなぜか、助字の扱いという観点から一文で説明しなさい。
8. ④「未嘗有也。」を書き下しなさい。
9. ④の「未」は再読文字である。一度目と二度目を、それぞれ漢字で書くか平仮名で書くか答えなさい。また「也」をどう書き下すかも答えなさい。
10. ⑤「将渡江。」を書き下しなさい。また「将」の二度目の読みを平仮名で答えなさい。
11. ⑥「不入虎穴、不得虎子。」を書き下しなさい。
12. ⑥の二つの「不」を、書き下し文では何と読んで平仮名で書くか答えなさい。
13. 次の書き下し文には誤りがある。⑥を「虎穴に入らんば、虎子を得不。」と書き下した場合の誤りを指摘し、正しく直しなさい。
14. ⑥「虎穴に入らずんば、虎子を得ず。」を現代語訳しなさい。
15. ⑦「無友不知己者。」を書き下しなさい。
16. ⑦の「無」「者」を、書き下し文ではそれぞれどのように平仮名で書くか答えなさい。
17. ⑦「己に如かざる者を友とすること無かれ。」を現代語訳しなさい。
18. ⑧「学不可以已。」を書き下しなさい。
19. ⑧の「可」「不」を、書き下し文ではそれぞれ何と読んで平仮名で書くか答えなさい。
20. 次の書き下し文には誤りがある。⑧を「学は以て已む可からず。」と書き下した場合の誤りを指摘し、正しく直しなさい。
21. ⑨「己所不欲、勿施於人。」を書き下しなさい。
22. ⑨の「於」を書き下し文に書くか・書かないか答え、その理由を説明しなさい。
23. ⑩「青取之於藍。」を書き下しなさい。
24. ⑩「青は之を藍より取る。」を現代語訳しなさい。
25. ⑪「事当如此。」を書き下しなさい。また「当」の二度目の読みを平仮名で答えなさい。
26. ⑫「与朋友交。」を書き下しなさい。また「与」を何と読んで平仮名にするか答えなさい。
27. ⑩の「於」は「より」と読む。この場合、書き下し文に書くか・書かないか答えなさい。また⑨の「於」との違いを説明しなさい。
28. 記述問題：「書き下し文を作るときの基本ルール」を、(ア) 助詞・助動詞にあたる字、(イ) 置き字、(ウ) 再読文字の三点に触れて、二～三文で説明しなさい。